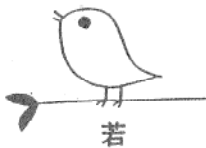


ヨーロッパ初訪問～ロンドンでの日々～



奥島基裕*

先日、春休みをいただいて約1カ月間ヨーロッパ旅行に行ってきた。私にとっては初めての海外旅行であり、しかも一人旅であったので、若干不安もあったが、見るもの聞くもの全てが新鮮で刺激に満ちあふれ、思い切って行ってよかったと思う。初めてヨーロッパの文化に触れた人間の目からに過ぎないが、私なりに感じたことを書かせていただく。

大阪からドイツのフランクフルトへ到着したのが3月8日のことであった。その後、主にユーレイルパスを用い、列車でドイツ、イタリア、フランス、スイス、スペイン、イギリスの各地を回った。中でも第1の目的地であり、滞在も約10日と長かったイギリス、特にロンドンでのことについて触れたい。

ロンドンの人々は、イタリアなどの人々のように自分の欲望に対して虚飾のない態度をあからさまに取ることも、お釣りが少々違うことを指摘されても笑って済ますような楽天的？ なところもなく、またフランス人のように英語で聞かれてもわざわざフランス語で答えてくれることもない。結構他人に無関心に見えるところも日本に近い印象で、他の都市ほどは違和感がなかった。困ったときには実に親切にしてくれ、私にとっては居心地の良い都市であった。

ただ、物価は首都であるためなのかもしれないが、特に宿代の高いのには閉口した。宿はピクトリア駅の近くの、ホテルよりは安いB & B (Bed and Breakfast, 朝食付きの宿) に泊まった。どこも2～3階建ての小さなそれ程きれいな建物ではなく、シャワーすら満足に出なか

ったりするのだが1泊4500～5000円程度もかかるのである。ユースホステルに泊まることも考え、予約の制度がないので朝7時過ぎに並びにいったのに(イースターの3～4日後だが)すでに一杯であった。

物価とは言えないが、高額な(私にとって)募金にも協力させられそうになった。ウエストミンスター寺院のそばを歩いているときである。いきなり女性が駆け寄ってきたと思うと、私の胸に小さい造花をさしてきて、子供のためのチャリティーなので募金してくれと言ってきた。そこでとりあえず50ペンス渡したところ、だめだという。(なぜか)10ポンドしか受け付けないのだそうだ。頭の中で円に換算しおわったときしばしあぜんとした。2200円程度である。冗談じゃないと思って造花を返そうとすると、もう駄目よ。その10ポンドを寄付しなさいと言って財布をつついてくる始末である。余りの強引な手口に、うさんくさいものを感じたので、何とか言いわけして1ポンドでその場は逃れた。その後も度々声を掛けられたので、何故かと疑問に思い、その女性団体を観察していると、どうも一人歩きしている日本人を集中的に狙っているようだった。日本人はどこの国でも、お金をもっていると思われるためであろうが、とんでもない話である。果たして彼女等は正式な募金団体であったのだろうか？ というのも気になるところである。

話は変わるがイギリスでの食事は、朝食はB & Bでも出されるベーコン・エッグス、昼食はサンドイッチなどの軽食を摂ることが多いようだが、一体夕食には何を食べているのだろうか？ 結構さがしたのにレストランはフランス料理、イタリア料理、中華料理のものが目に付くばかりでついにイギリス料理というものを食べられなかったことが残念である。夕食は中華料

*奥島基裕 (Motohiro OKUSIMA), 大阪大学
大学院, 工学研究科, 溶接工学科, 前期過程2年

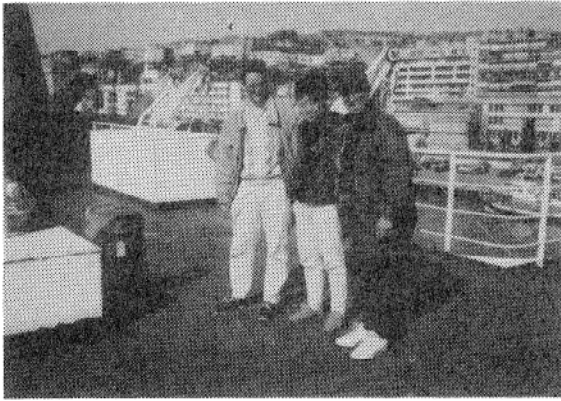


写真1 ドーバー海峡を渡るフェリー上にて



写真2 トラファルガー・スクエア付近からの眺め

理かファーストフードのお世話になることが多かった。ファーストフードの店の従業員は黒人労働者が圧倒的に多く、全く無愛想にやっている様が、やたらとにこにこする日本とは対照的であった。

あと、ロンドンで楽しみにしていたことの一つがミュージカルである。チケットは前日でもブースで予約ができた。(その時現地の女の子たちは、ハーフプライスチケットを買えばいいのにはかね……とか言っていたのが聞こえてしまったが、これはかなり並ばなければならないのだ)但し、比較的前のほうの席を確保できても、必ずといっていいほど一番端の席になるようだ。そのためかホール両サイドの席は日本人だらけであった。ただ、ホールはかなり小振りなので十分間近にみることができる。私は“STARLIGHT EXPRESS”と“Les Misérables”を見たのだが、ただただ素晴らしかったの一語に尽きる。特に後者は近年忘れかけていた感動の嵐を呼び起こしてくれ、今回の旅行でもっとも良い思い出の一つになった。ただ、もう少しヒアリングの力があればさらに深い感動が得られるのに……というのが残念であり、悔しかった。

初めての海外旅行で感じたことを思いつくままに書いたもので、とりとめのないものになったが御容赦願いたい。今回の旅行のような想いつくまもの、1カ月にも及ぶ旅行はおそらく二度とする機会がないであろうが、自分なりに得るものが多く、貴重な体験ができたと思っている。今回強く感じた語学力の不足(一応米語では多少なりとも練習はしていったのだが、英語は半分、スコットランド語? はわずかしき聞き取れなかった)を何とか改善し、機会があればもう一度訪れたいと思っている。